

# 「全校一心」で活力あふれる中学校生活を

館林市立第三中学校 校長 外山 一郎

皆さん、こんにちは。三中第17代校長の外山<sup>とやま</sup>です。どうぞよろしくお願ひいたします。

本校は、昭和44年4月に館林市立六郷中学校と館林市立三野谷中学校が統合してできた、本年度で創立52年目となる、半世紀の歴史を刻んできた中学校です。

本年度は、118名の新入生を迎え、全校生徒380名でスタートしました。本校の生徒は、正直でエネルギー豊かなことが持ち味です。

本校の教育目標は、「広く豊かな心をもつ」「自ら学ぶ」「心身を鍛える」です。私はその具現化を図るために、「主体性と思いやりのある生徒」「自分の頭で考えることのできる生徒」「何事にもチャレンジできる生徒」を目指す生徒像として、生徒たちを育てていきたいと考えています。有意義な中学校生活とは他人から与えてもらうものではなく、自らつくり上げていくものだと思います。本校の生徒たちにとって、三中での学校生活が、豊かな人生につながる青春の貴重な1ページとなるようにと願っています。

さて、今4月現在、新型コロナウイルス感染症への対応に世界中が苦慮しています。本校も感染症対策の工夫をする中で、始業式及び入学式を行い新年度がスタートしましたが、4月の途中から再び臨時休業となり、平常の学校生活が送れずにいます。すでにいくつかの行事等も延期や中止とするなど、まだ先が見えない中にいます。しかし、朝が来ない夜も、出口がないトンネルもありません。今こそ、本校の合い言葉「全校一心」のとおり、みんなで力を合わせてこの危機を乗り越えていければと思います。困難は人間を強くします。この困難をさらなる成長へのバネとして一日も早く活力あふれる三中を取り戻したいと思っています。

保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、学校教育目標の実現に向けて、生徒と教職員が心をつなげて教育活動を展開していきたいと考えておりますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



【昨年度の市中体連夏季大会の壮行会】

令和2年4月